

鎌倉市交通計画検討委員会専門部会

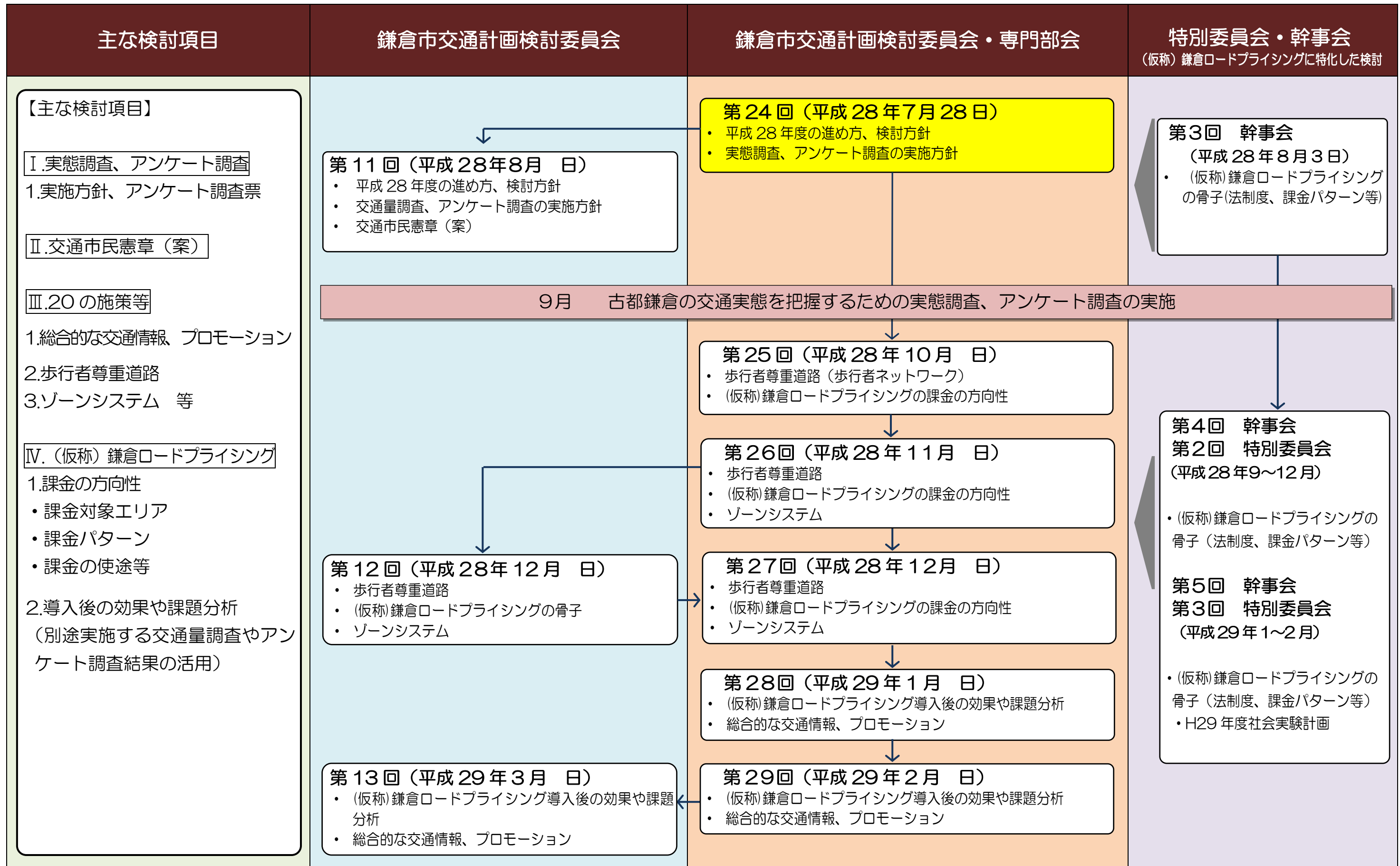
【第24回】

(目次)

1. 平成28年度の進め方(案)	1
2. 平成28年度検討委員会・専門部会の検討方針	2
1) 検討体制	2
2) 主な議題	2
3. 実態調査・アンケート調査について	4
1) 目的	4
2) 調査内容	4
3) 論点	8

平成28年7月28日(木)

1. 平成28年度の進め方（案）



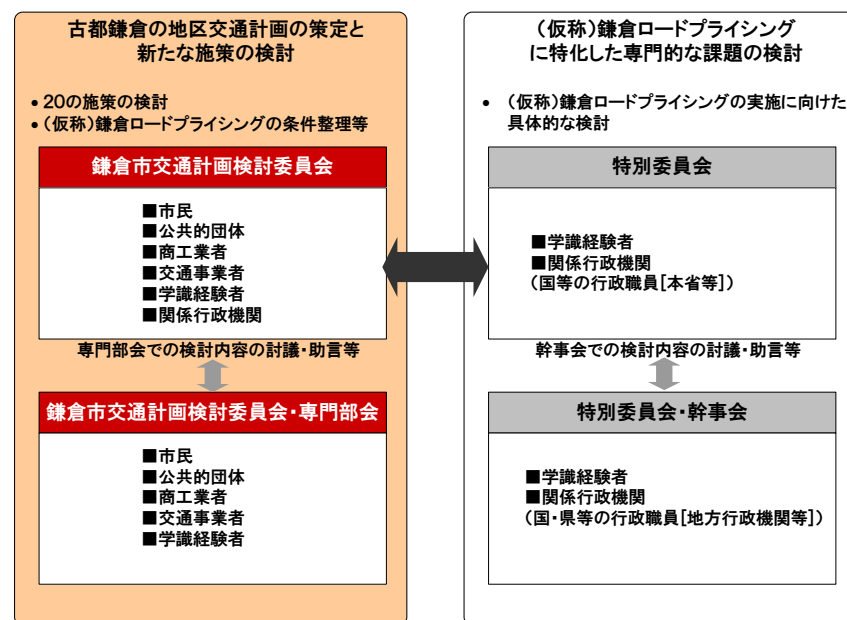
※検討する内容や開催時期が変更になる可能性があります。

2. 平成28年度検討委員会・専門部会の検討方針

1) 検討体制

- 昨年度に引き続き、(仮称)鎌倉ロードプライシングに特化した専門的な課題を議論する「特別委員会」と本委員会の2つの体制で検討を進めます。

図. 鎌倉市交通計画検討委員会等組織図



2) 主な議題

- 検討委員会・専門部会では、昨年度の検討を踏まえ、主に次の項目を議論します。

I. 実態調査、アンケート調査

1. 実施方針、アンケート調査票

II. 交通市民憲章 (案)

III. 20の施策等

1. 総合的な交通情報、プロモーション

2. 歩行者尊重道路

3. ゾーンシステム 等

IV (仮称) 鎌倉ロードプライシング

1. 課金の方向性

2. 導入後の効果や課題分析

I. 実態調査、アンケート調査

1. 実施方針、アンケート調査票

- ・ 古都鎌倉の自動車交通量、駐車場の分布・利用状況、市民、来訪者等の移動実態や(仮称)鎌倉ロードプライシングの意向等を把握するための、アンケート調査の実施方針やアンケート調査票について検討します。

II. 交通市民憲章 (案)

- ・ 昨年度検討した市民憲章の専門部会(案)を検討委員会に諮り、検討委員会(案)を策定します。
- ・ 市民憲章の策定に向け、市民の機運を高めるPRの方法を検討します。

III. 20の施策等 (3頁参照)

1. 総合的な交通情報、プロモーション

- ・ 昨年度に引き続き、総合的な交通情報の内容や方法を検討します。
- ・ 市民憲章(案)や(仮称)鎌倉ロードプライシングの市民の理解を深めるため周知の方法を検討します。

2. 歩行者尊重道路

- ・ 古都鎌倉の歩行者ネットワークのあり方を検討するとともに、国土交通省が平成28年3月31日に公表した生活道路に関する「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する一般的技術基準」等を踏まえ、歩行者尊重道路の具体策を検討します。

3. ゾーンシステム

- ・ (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向け、道路幅員が狭いものの、古都鎌倉への抜け道が複数ある由比ガ浜地域に対し、来訪車両の流入を防ぐための交通規制等を検討します。

IV. (仮称) 鎌倉ロードプライシング

1. 課金の方向性

- ・ 「鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめ(平成27年3月 鎌倉市交通計画検討委員会)」で定めた課金の方向性を基に、特別委員会で議論を進めている法制度等の検討結果を踏まえ、課金エリア、パターン等を必要に応じて再検討します。
- ・ 課金の具体的な用途を検討します。

2. 導入後の効果や課題分析

- ・ (仮称)鎌倉ロードプライシングを実施した場合に想定される行動の変化を、別途実施されるアンケート調査結果から分析し、買物行動の変化等の課題に対する方針を検討します。

20 の施策、新たな施策の検討課題・検討方針及び検討の主体

施策等	検討課題・検討方針	検討の主体 (○：平成27年度からの継続議論、◎：平成28年度に新規議論)		
		検討委員会	特別委員会	
20 の施策	①（仮称）鎌倉ロードプライシング	前頁参照	○	○
	②～⑤ パークアンドライド	既存の駐車場は駐車時間の延長や夏期の運用、深沢地域のまちづくりとの整合、朝比奈方面の新たな駐車場の確保等、検討課題が明らかであり、関係機関と協議・調整する。		
	⑥～⑨ シャトルバス	運行計画、走行環境の向上を検討しつつ、交通事業者と協議・調整する。		
	⑩バス専用レーン	導入効果や周辺道路への影響を検証し、交通管理者等と協議・調整する。		
	⑫鎌倉フリー環境手形	利用促進に向けたサービスの拡充を、関係機関と協議・調整する。		
	⑫乗合タクシー	運行計画・経費を検討し、交通事業者等と協議・調整する。		
	⑬～⑯ 歩行者尊重道路	歩行者尊重道路に位置付けられている路線に加え、鎌倉市議会に対する「子供達と高齢者の歩行空間の安全を守る為、生活道路におけるあらゆる対策を講じるよう、鎌倉市に対して、働きかけることを求める請願書」を受け、鎌倉地域内の歩行環境の向上策を広く検討する。検討に際しては、国土交通省が平成28年3月31日に公表した「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する一般的技術基準」等を踏まえ行う。 今小路通りは過年度の社会実験等の結果等を踏まえる。	◎	
	⑰ゾーンシステム	計画を検討し、沿道住民や交通管理者と協議・調整する。	◎	◎
	⑱江ノ電踏切と連動した信号処理	計画を検討し、交通管理者と協議・調整する。		
	⑲総合的な交通情報	スマートフォンの活用や全国的に情報発信する方法等を、市関係課、交通事業者等と協議・調整する。	○	
	⑳プロモーション	方法を検討し、市関係課、関係機関と協議・調整する。	○	
新たな施策	パークアンドライド（民間駐車場の活用）	平成27年度に実施した民間駐車場事業者へのヒアリング結果等を踏まえ、民間駐車場事業者と協議・調整する。		
	新規循環バス「スーバ」	本格運行に向け、久木踏切の問題等、関係機関と協議・調整する。		
	地域公共交通の輸送力の増強	輸送力の増強を図るための課題を明らかにし、交通事業者等と協議・調整する。		

空欄：当面は事務局で検討を進め、検討委員会に報告し必要に応じて次年度以降に議論。
※20 の施策は追加、廃止があることから名称については今後検討する。

3. 実態調査・アンケート調査について

1) 目的

鎌倉地域地区交通計画の検討に向け、最新の交通実態の把握、(仮称)鎌倉ロードプライシングをはじめとした交通施策の導入効果や課題や交通市民憲章(案)の考え方を把握するため、平成8年に実施した同等の実態調査とアンケート調査を実施し、交通実態や交通施策に関する考え方の経年変化を整理します。

【実態調査・アンケート調査結果の主な分析(成果)】

- (1)平成8年の交通実態調査結果を基に作成した自動車交通分布・構成の検証
- (2)駐車場の収容台数、利用状況(需給バランス)の把握
- (3)自動車利用の抑制策の導入効果や課題の検証

2) 調査内容

①実態調査

調査項目	調査対象	調査時間	調査方法	調査結果の分析による成果		
				平成8年の交通実態調査結果を基に作成した自動車交通分布・構成の検証	駐車場の収容台数、利用状況(需給バランス)の把握	自動車利用の抑制策の導入効果や課題の検証
(イ)自動車交通量調査	主要な交差点、断面 約35箇所 (次頁参照)	7時~19時 (12時間)	道路上で調査員が車種別に交通量をカウントする (大型乗用車、大型貨物車、普通貨物車、普通自動車〔一般車、タクシー〕、二輪車〔バイク〕)	○		
(ロ)信号現示調査	信号交差点	約45箇所 (次頁参照)	7時~19時 (12時間)	歩行者用の押しボタン信号機を除く信号機を対象に調査員が信号現示パターンを記録する		○
	主要な踏切	7箇所 (次頁参照)	ピーク1時間	遮断開始時間と終了時間を記録する		○
(ハ)駐車場分布調査	鎌倉地域の車庫を除く全ての駐車場	—	鎌倉地域内の全ての駐車場を対象に、調査員が公道から確認できる範囲で駐車場の位置、収容台数、構造、料金を調査する 大型バスの駐車スペースがある場合は、一般車と大型車の収容台数を分けて記録する。		○	
(ニ)駐車場利用実態調査	主要な10箇所 (6頁案参照)	7時~19時 (12時間)	駐車場の出入口でナンバープレートを読み取り駐車時間等を記録する。 駐車場待ちが発生した場合には、その発生時間とナンバープレートを読み取り記録する。		○	○

図 交通量調査案内図

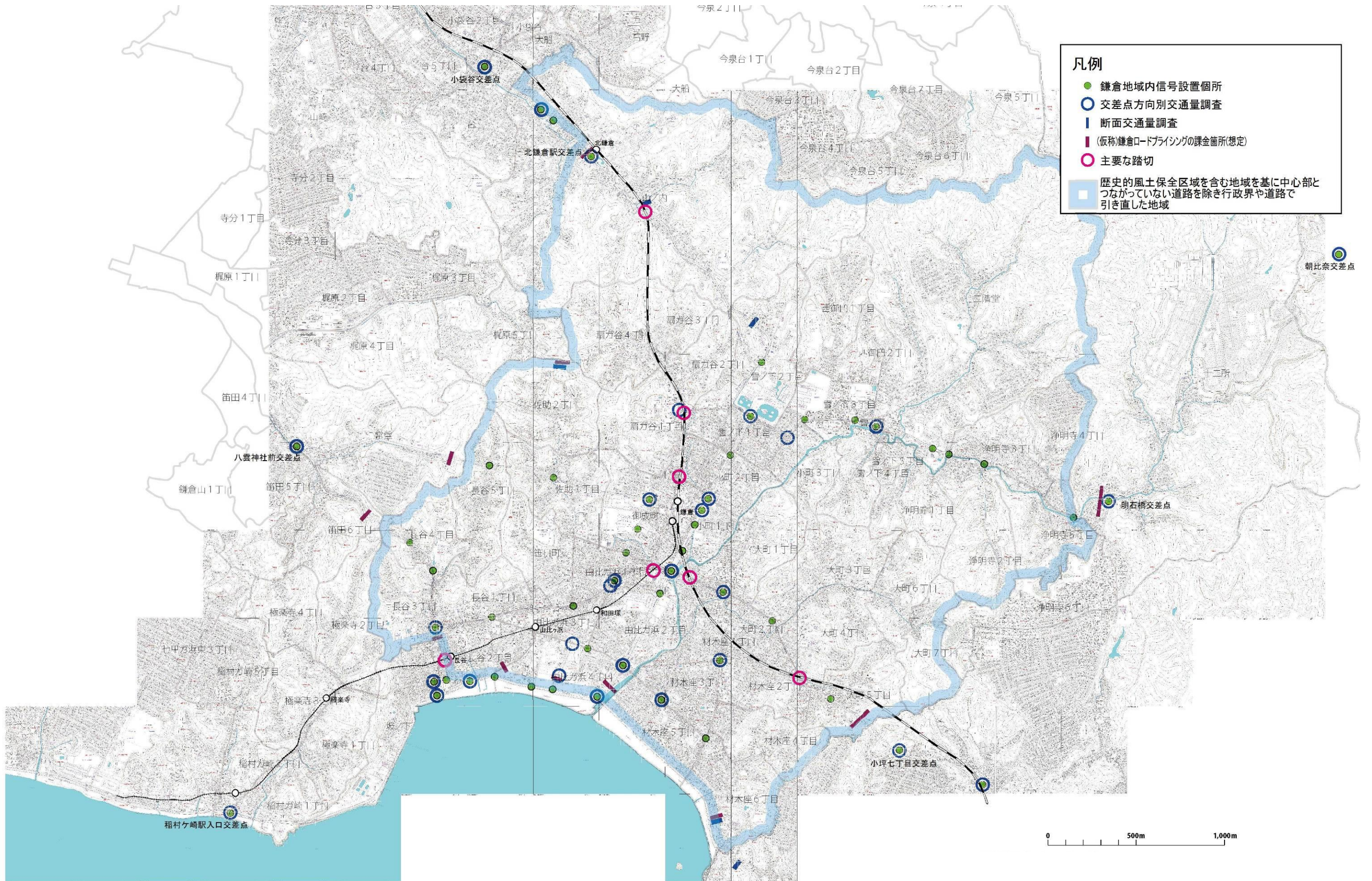
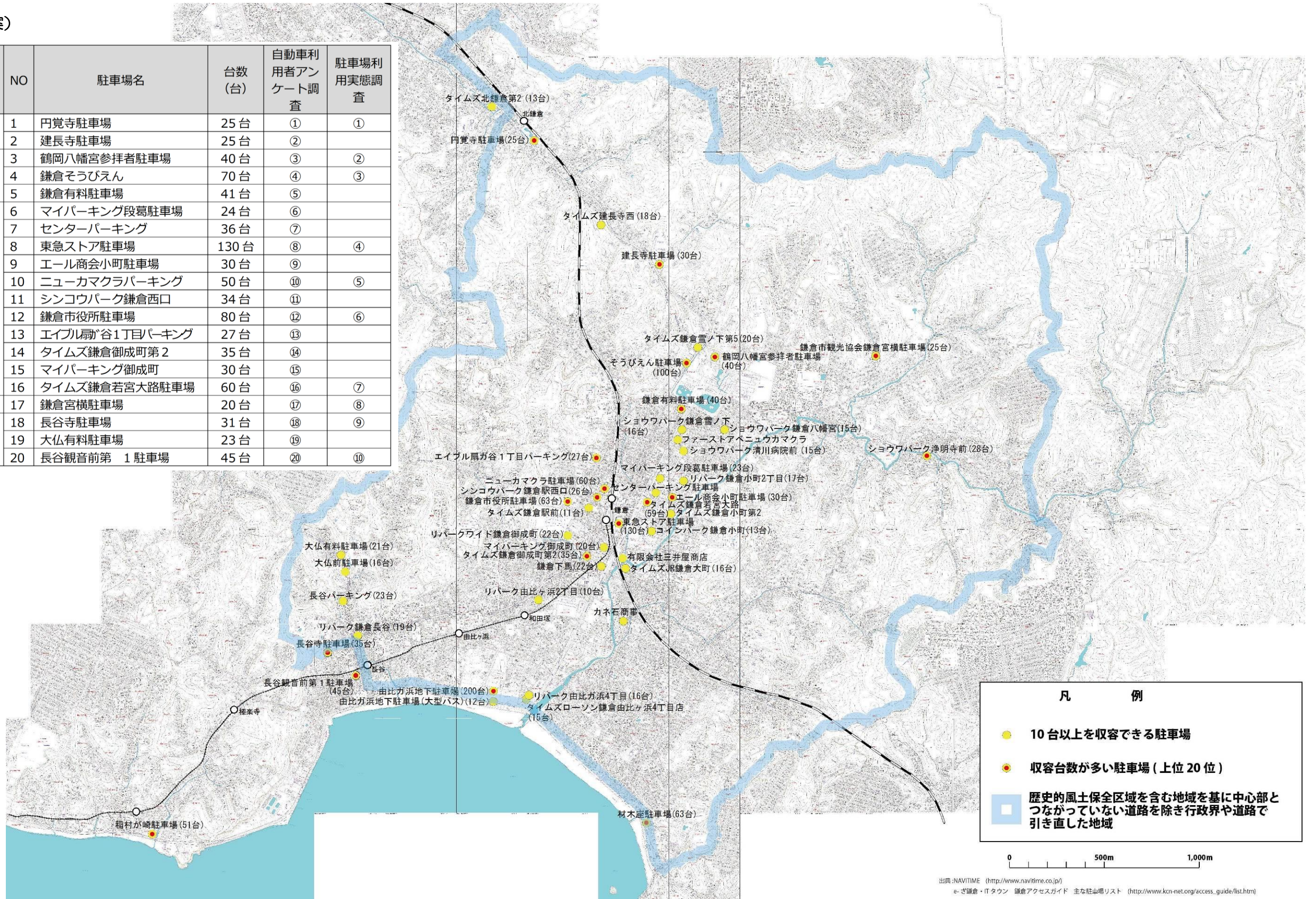


図 主要な駐車場の分布状況(主に収容台数が10台以上)

調査箇所(案)

地域	NO	駐車場名	台数(台)	自動車利用者アンケート調査	駐車場利用実態調査
北鎌倉駅周辺	1	円覚寺駐車場	25台	①	①
	2	建長寺駐車場	25台	②	
鶴岡八幡宮周辺	3	鶴岡八幡宮参拝者駐車場	40台	③	②
	4	鎌倉そうびえん	70台	④	③
	5	鎌倉有料駐車場	41台	⑤	
鎌倉駅周辺	6	マイパーキング段葛駐車場	24台	⑥	
	7	センターパーキング	36台	⑦	
	8	東急ストア駐車場	130台	⑧	④
	9	エール商会小町駐車場	30台	⑨	
	10	ニューカマクラパーキング	50台	⑩	⑤
	11	シンコウパーク鎌倉西口	34台	⑪	
	12	鎌倉市役所駐車場	80台	⑫	⑥
	13	エイブル扇ガ谷1丁目パーキング	27台	⑬	
	14	タイムズ鎌倉御成町第2	35台	⑭	
	15	マイパーキング御成町	30台	⑮	
	16	タイムズ鎌倉若宮大路駐車場	60台	⑯	⑦
鎌倉宮周辺	17	鎌倉宮横駐車場	20台	⑰	⑧
長谷・大仏周辺	18	長谷寺駐車場	31台	⑱	⑨
	19	大仏有料駐車場	23台	⑲	
	20	長谷観音前第1駐車場	45台	⑳	⑩



凡 例

- 10台以上を収容できる駐車場
- 収容台数が多い駐車場(上位20位)
- 歴史的風土保全区域を含む地域を基に中心部とつながっていない道路を除き行政界や道路で引き直した地域

出典:NAVITIME (http://www.navitime.co.jp)
 e-鎌倉・ITタウン 鎌倉アクセスガイド 主な駐車場リスト (http://www.kcn-net.org/access_guide/list.html)

②アンケート調査

調査項目	アンケート調査票番号	調査対象	調査期間	調査方法	アンケートに同封する資料	アンケートの分析結果による成果			
						平成8年の交通実態調査結果を基に作成した自動車交通分布・構成の検証	自動車利用の抑制策の導入効果や課題の検証	駐車場の収容台数、利用状況（需給バランス）の把握	
鎌倉市民アンケート調査	(イ) 居住者	A A'	鎌倉地域 1,500 人 その他 1,500 人 計 3,000 人	平成 28 年 9 月中	アンケートを郵送で配布・回収	・お願い文 ・資料 1： 鎌倉地域区分・道路案内図 ・資料 2：行動調査票 ・資料 3： (仮称)鎌倉交通市民憲章(案)	○	○	
	(ロ) 事業所	B B'	鎌倉地域 1,500 箇所 その他 1,500 箇所 計 3,000 箇所	平成 28 年 9 月中	アンケートを郵送で配布・回収	//	○	○	
来訪者アンケート調査	(イ) 自動車利用者	C	20箇所の駐車場 (6頁参照)	実態調査に合わせ 平成 28 年 9 月 18 日(日)	調査員が利用者に直接配布し、郵送で回収	・お願い文 ・資料 1： 鎌倉地域区分・道路案内図 ・資料 2：行動調査票	○	○	
	(ロ) 鉄道利用者	D	鎌倉駅 2,000 人 北鎌倉駅 1,000 人 長谷駅 1,000 人 計 4,000 人	実態調査に合わせ 平成 28 年 9 月 18 日(日)	//	//		○	
買物客アンケート	E	約 500 人	平成 28 年 9 月中	各店舗に依頼し、お客にアンケートを配布してもらい郵送で回収	//		○		
タクシー運行に関するアンケート調査	F	鎌倉地域のタクシー事業者	平成 28 年 9 月中	アンケートを配布・回収	//	○			
宅配車両運行に関するアンケート調査	G	鎌倉地域の貨物事業社	平成 28 年 9 月中	アンケートを配布・回収	//	○			
来訪営業車に関するアンケート調査	H	鎌倉地域の事業所に来訪する車両	平成 28 年 9 月中	事業所の調査対象者に依頼して、来訪営業車にアンケートを配布・郵送で回収	//	○			

3) 論点

- ・ 実態調査の内容を確認するとともに、各種調査票について議論します。
- ・ 自動車の流入抑制に係る質問は、平成8年に実施したアンケート調査結果と比較するため、一部同じ質問、回答を用意しています。

《平成8年アンケートと質問を合わせた内容》

【鎌倉市民アンケート】

- ①（仮称）「古都鎌倉 交通市民憲章」は、市民自らの自動車利用の自粛を表明し、来訪者にも理解を求めることについて
- ②古都鎌倉で自動車の乗入れや走行を制限するとした場合の協力の仕方について
- ③（仮称）鎌倉ロードプライシングの対象について
- ④（仮称）鎌倉ロードプライシングの条件について
- ⑤料金収入の活用について

【来訪者アンケート】

- ①鎌倉の交通渋滞・混雑についての考え方
- ②交通渋滞対策として休日に来訪車両から料金を徴収する方法について
- ③一定金額を払わなければならないときの行動の変化
- ④古都鎌倉にふさわしい交通環境を実現するために1回の走行に対して妥当である課金額